# 歯科治療室

### 1. スタッフ

歯科医師2名

内橋俊大 助教(歯学部口腔外科学第一教室助教兼任) 松井沙織 特任助教

歯科衛生士3名(うち、特任歯科衛生士2名)

## 2. 診療内容(対象は入院中の患者に限定)

当室での治療の目的は、入院中の患者が原疾患の治療に専念できるよう、口腔内のあらゆる症状疾患に対して、歯科的サポートをすることである。具体的には以下のとおりである。

- (1) 一般歯科治療(義歯やブリッジなどの技工が必要となる補綴物は、入院中に完成できる期間がある場合のみ作成可能)
- (2) 頭頚部癌、食道癌を代表とする癌患者に対する化 学療法や放射線療法中の口腔粘膜炎や各種口腔有 害事象に対する口腔管理
- (3) 頭頸部領域、呼吸器領域、消化器領域等の悪性腫瘍の手術、臓器移植手術または心臓血管外科手術等の周術期口腔管理(誤嚥性肺炎、感染性心内膜炎や口腔感染症の重篤化予防のための専門的口腔ケアや予後不良歯の抜歯などの小手術)
- (4) 各病棟で口腔ケアが困難な症例の専門的口腔ケア
- (5) 免疫抑制剤使用予定及びビスホスホネート製剤を 代用とする骨吸収抑制薬使用予定の患者の歯科的 感染源の有無の評価とその除去(近年急増してい る薬剤関連顎骨壊死の治療やその予防)
- (6) 歯学部附属病院との連携による顎骨骨折治療 (高度救急救命センター入院患者など)
- (7) 血液腫瘍内科の骨髄移植予定患者の化学療法時からの口腔管理及びクリーンルームへの病棟回診と専門的口腔ケア

その他頭頚部癌患者に対して、歯学部附属病院咀嚼補 綴科と術前から連携し、術後早期にシーネや顎義歯を 製作することで、患者の早期社会復帰を目指している。 また最近では、ラリンゴサージェリー前の歯牙プロテ クター作成も積極的に行っている。

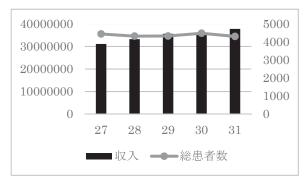
#### 3. 診療体制

対象は入院患者に限定しているので、病棟主治医からの紹介のみ受け付けている。診療スケジュールは平日9時~17時でその他の時間帯は要相談となる。歯科

医師2名のため、学会等で2名とも不在の場合は、歯 学部附属病院からの代診医に診療を依頼している。

# 4. 治療実績

前述の治療内容の中でも、近年全国的に(2)(3)(7)の 周術期口腔ケアや(5)の骨吸収抑制薬投与前のスクリ ーニングの重要視されるようになり、当室でも年々患



者数が増加している(上図)。周術期ケアとは、いわゆる狭義の口腔ケア「歯磨き」だけでなく、手術、放射線療法、化学療法前の患者の口腔内の感染源除去が重要なポイントであるため、入院後の治療前という短期間に抜歯、カリエス治療、歯石除去などの治療を完了させなければならない。そのため、全身の状態を把握し、主科の担当医と連携を取りながら迅速に対応する必要がある。

歯学部でも医科歯科連携の重要性が注目され、学部6回生の臨床実習での習得が必須化されたため、平成30年10月より当室での実習が追加されており、現在も年間を通して、研修医及び学部6回生を各日1名ずつ受け入れ、医科歯科連携の実際を研修させている。

#### 5. その他

当室では、日本口腔外科学会認定口腔外科専門医 1 名及び臨床研修指導歯科医 2 名が在籍する。

また、歯学研究科と連携し、口腔粘膜炎の疾患ごとの細菌叢の解析の臨床研究を開始している。